

ESDテーマ会議2013

歴史文化遺産と人材育成

平成25年10月19日

矢掛町立矢掛中学校
主幹教諭 室貴由輝

歴史文化遺産と人材育成



平成25年10月19日

矢掛町立矢掛中学校
主幹教諭 室貴由輝



矢掛高校の概略

- **開校** 明治35年（1902年）
創立112年の伝統校
H16年 矢掛商業高校と再編
- **設置学科** 普通科3，地域ビジネス科1
- **生徒数** 1学年160人
- **アクセス** 矢掛駅から徒歩5分





矢掛高校の特色

- 3グループ

普通科 { 探究コース
総合コース
地域ビジネス科

- 環境教育 学校設定教科「環境」
- 地域学 学校設定教科「やかげ学」

- 教育活動のベースにESD



矢掛商業高校との再編時(平成16年)に 学校設定教科「環境」を開設

- 総合的な学習の時間からの発展
- 教科横断型の学習から知の統合化へ
- 教科「環境」から各教科への
フィードバック

学校設定教科「環境」の目的

環境や環境問題に関心・知識を持ち、人間と環境とのかかわりについての総合的な理解と認識の上にたって、環境に配慮した生き方ができる技能や思考力、判断力を身に付け、**地域社会**の中で環境に対して主体的に働きかける**態度や行動力**を育成する。

授業の様子



授業風景



校外での実習



実験施設の作製



成果を発表

「環境」に関する授業外の活動

- 白石島ESDプログラム
- 徳島県上勝町視察
- 発電所視察
(H20島根県H21,22愛媛県H23,24九州・四国)
- 環境イベントへの参加
- 水源林視察
- 川レンジャー
- スイゲンゼニタナゴの保護・増殖
- 外部講師による講演

「環境」に関する授業外の活動



白石島ESDプログラム

目的

瀬戸内の離島での**体験的な活動**や島の**歴史や文化**の学習を通じて、人間の活動と環境とのかかわりについて理解させる。また島における持続可能な発展のための課題を認識するとともに、**問題や現象の背景の理解、多面的・総合的なものの見方**ができるようにする。

島の未来は日本の未来

活動内容

- 第1日 講義Ⅰ「島の現状と課題」
講義Ⅱ「白石島を知ろう」
シーカヤック体験
環境保全活動Ⅰ 海岸清掃
白石島踊り体験
夜の水辺観察
- 第2日 自然観察（トレッキング）
環境保全活動Ⅱ 遊歩道整備（草刈り）
講義Ⅱ「持続可能な社会の実現に向けて」

白石島ESDプログラム



白石島ESDプログラム



島での活動で生徒に気づきが

- 島での活動を通して様々なことに気づき、今までバラバラだったものがつながってくる。
- 自分たちができることは何かを考えはじめ。
- 知識から行動へ

自然体験活動

- 現状を見て危機感を持った。
- 景観は人の手によって守られていることを知った。
- カヤックに乗って初めて見えるゴミがあった。
- 川と海がつながっていることを強く感じた。

少子高齢化について

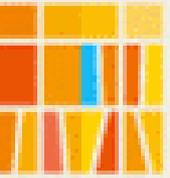
- 島を見て少子高齢化が他人事ではないと思った。
- 島の高齢者がとても元気なことに驚いた。
- 今後、島での力仕事は高齢者にはきついと思った。
- 日本の将来に不安を感じた。
- 自分にできることは何かを考えた。

文化的行事

- 若者がいなくなると伝統行事がなくなってしまう。
- 白石踊りを踊っているときに伝統を感じてこの島に住みたいと思った。
- 文化や歴史に興味がわいてきた。
- 文化的行事が環境保全と関係あると知った。

プログラム実施後の生徒の変化

- 海と川のつながりを意識するようになった。
- ゴミ問題への関心が高まった。
- 少子高齢化についての関心が高まった。
- 医療や福祉に関心を持つようになった。
- 自分が住む町の歴史や文化に関心を持つようになった。
- 環境教育に関する活動に積極的に参加するようになった。



第1回私のまちのたからものコンテスト

日本ユネスコ協会連盟賞（最優秀賞） 受賞



教科「環境」の成果

- 「持続可能な社会」についての意識が高まっている
- 物事を多面的にとらえることができる生徒が増加
- 他の教科との関連に気づき、学習意欲が向上
- 歴史や文化への関心が高まっている
- 意欲的に行事に参加する生徒が増加
- 地域との「かかわり」を意識する生徒が増加
- 進路に結び付ける生徒の増加

「環境」から「やかげ学」へ

- 教科「環境」における**地域での体験的な学習**により、「物事を多面的にとらえる能力」、「**地域社会の中で主体的に活動する態度や行動力**」、「自己肯定感」、「学習意欲」、「他の教科への関心」が高まることが見えてきた。
- **地域の子どもは地域で育てる**。地域の方に講師になってもらい、地域のさまざまな施設で育ててもらおう。育ててもらった恩を活動することで恩返しする。
- 地域で育てられた子は地域に戻ってくる。
- **地域（矢掛町）が持続可能**であるために欠かすことのできない**人づくり**につながる。
- 生徒も**地域に支えられていることを認識**するようになる。地域と高校生のコミュニケーションが図られるようになる。**地域が高校の応援団**になる。

平成22年4月 「やかげ学」スタート

● 《具体的な活動》

2年次の4月から6月までは、「矢掛町のまちづくりについて」「矢掛町の文化について」「矢掛町の歴史について」「社会人としてのマナー」等の講義を校外から招いた講師からうけ、**矢掛町についての理解を深める。**6・7月で実習先を決定し、9月からそれぞれの**施設での実習を行う。**

3年次は、4月から8月まで2年次と同じ**施設で実習を行う。**9月に2年次生に活動を引き継ぎ、実習を終了する。9月以降は校内で活動のまとめ、ふりかえりを行い、12月に活動の**まとめのプレゼンテーションを行う。**

やかげ学 講義



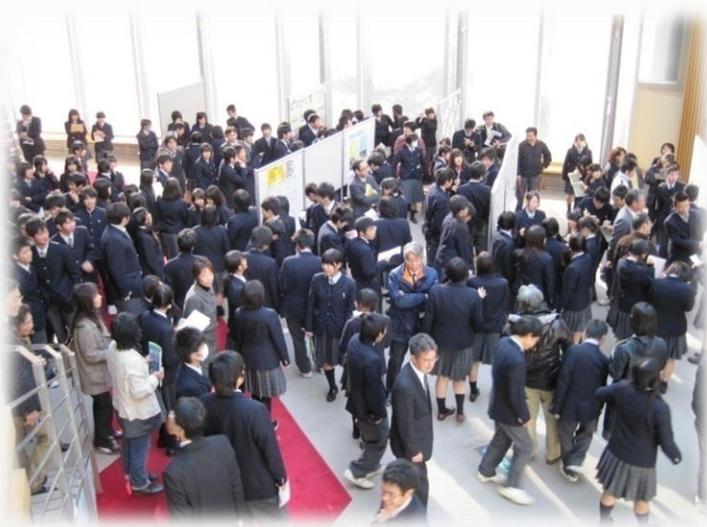
やかげ学 実習



やかげ学 実習



やかげ学 発表会



やかげ学で得たもの

- 積極的に人と関わることができる
- 相手の立場に立って考え、行動できる
- 学ぶことの大切さを感じ、学習意欲が向上
- 働くことの意義、社会人としての責任を理解
- 将来の職業や進路目標の決定
- 自分の気持ちや考えを伝えることができる
- 矢掛町や地域の人への愛着、感謝の気持ち
- 自信と誇り

環境・やかげ学からへまちづくりへ

学校設定教科「環境」

- 少子高齢化と環境問題
- 中山間地域における耕作放棄地の問題
- 経済活動と環境問題

学校設定教科「やかげ学」

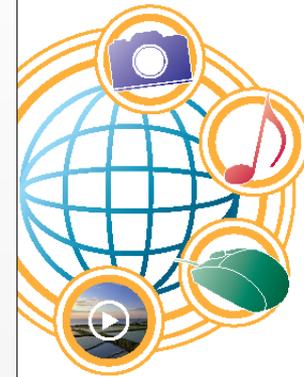
- 矢掛の歴史、文化
- 矢掛の観光振興
- 矢掛町への愛着

環境・やかげ学からへまちづくりへ

岡山まちの夢学生アイデアコンテスト
公開プレゼンテーション

2013.2.23(SAT) 岡山国際交流センター

主催：岡山県・岡山県中小企業団体連合会



第4回 2012年度 私のまちのたからもの コンテスト

応募要項

「私のまちのたからものコンテスト」は、子ども達が地場学習を通じて、地域の文化や自然を愛し、誇りをもって守り伝えていこうとする気持ちを育むことを目的に実施します。

「世界の人に伝えたい、私のまちのたからもの」をテーマに、自分たちで撮ったデジタル写真に文字やナレーション、音楽を組み合わせた地域を紹介するスライドショーを募集します。

新部門「音声なし部門」「個人部門」ができ、参加しやすくなりました!

募集期間 2012年6月25日(月)～2013年1月11日(金)必着

募集対象 全国の小・中・高等学校
1. 学校部門 → 学校の授業またはクラブ活動
(例:総合的な学習の時間、道徳、社会、国語、情報、美術、パソコンクラブなど)
2. 個人部門 → 小、中、高等学校に在籍する児童生徒

募集作品テーマ 「世界の人に伝えたい、私のまちのたからもの」
(有形・無形文化、自然等)

〇)、全国知事会、
会、全国町村会、

第3回 全国高校生 観光甲子園

地域の観光プランで日本一を競い合うコンテスト

自分の地元を世界中へアピールする、
観光プランを大募集!!

小中高連携でまちへの意識を継続

第36回
全国町並みゼミ 倉敷大会
「つながる地域文化の伝統と創造～備中の風土力の発信～」

日時 平成25年**9月20日(金)・21日(土)・22日(日)**

会場 9月20日(金)全体会:倉敷市芸文館(倉敷市中央1-18-1)
9月21日(土)分科会:倉敷1・2・3、玉島、高梁、浅口、矢掛
9月22日(日)全体会:倉敷市芸文館(倉敷市中央1-18-1)



町角でのポスターセッション

☆小学生…簡単な観光案内

★中学生・高校生…町づくり提案

説明するだけではなく、参加者から意見を聞き、今後の町づくりの参考に

双方向性の重視

町角でのポスターセッション

- 小学生…総合的な学習の時間
- 中学生…総合的な学習の時間
- 高校生…「環境」「やかげ学」

それぞれが町の歴史や文化について学ぶが、継続性がない。

小中高の連携を図り、
持続発展可能な学びへ

第36回全国町並みゼミ倉敷大会 矢掛分科会



岡山県立矢掛高等学校
矢掛町立矢掛中学校
矢掛町立矢掛小学校

町を知ることによって、町を好きになる。
好きになると、大切に作る。

町を持続可能にするために動き始める。

歴史的な遺産には持続可能性を高める
ヒントがある。

歴史的な文化遺産にはE S Dの教材が
つまっている。

大切なこと

「持続可能な社会を構築するためには」という視点で物事を観ることができる

地域の人材の発掘、育成

まちづくりの課題を知る

少子高齢化、福祉、教育、一次産業、後継者不足、交流人口…

まちのたからものを見つける

御清聴ありがとうございました